事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0250

	-		<i>L</i> I				手養面		2022	- 又科			· ·	
					政事業		ューシ	<u>/ </u>		(文部和	斗学省)	
事業名	■国立研 経費	光開発法人量 ⁻	ナ科字技術 [。]	ຫ究開発機 ———	構施設整備に必	必要な	担当部	吊庁	研究振興局				战責任者	
事業開始年度	平	成13年度	事業 (予定	終了)年度	終了予定力	なし	担当	課室	基礎•基盤研	T究課		量子研究推 迫田 健吉	進室長	
会計区分	一般的	会計												
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立码	开究開発法人	.量子科学	技術研究	開発機構法		関係計画、		議決定) 量子技術イ 科学技術・ な推進方策	技術・イノベ ノベーション 学術審議会 : 報告書」(ーション基本 ・戦略(令和 「量子科学打 平成29年8)	\$計画(令和 2年1月21日 支術(光•量-	子技術)の新た	
主要政策・施策	医療分	分野の研究 開	発関連、	科学技術	・イノベーショ:	ン	主要	経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡 似に。3行程度以 内)	姿を簡					整備に	L 必要な経費	費に係る補	助金の交付を	通じ、同機構活	まに規定する	業務を効率的な	かつ円滑に遂行	
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	する経	費に対し補助	を実施する	。 。(補助率	:定額)								施設の整備に要 8年4月1日に設	
実施方法	補助													
				令和	1元年度	•	令和2年度	Ę	令和3年度		令和4年度			
		当初予	5算 ————	3	3,317		632		2,075		1,718			
		補正予		6	5,369		4,477		7,124		4,525			
	予算	第2次補	正予算								4,525			
	の状	前年度から			3,726		6,369		4,472		7,124			
予算額 · 執行額	│ 況	翌年度へ		A	6,369		▲ 4,472		▲ 7,125					
(単位:百万円)		予備費	費等 ————		_		-		_					
		計		7	',043		7,006		6,546		13,367			
		執行額		6	5,986		7,006		6,505					
		執行率(%)		99%		100%		99%					
		予算+補正予 執行額の割合			72%		137%		71%					
		歳出予算目]4年度 補正予算					主な増減理	里由			
∂和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)		国立研究開発法人量子科 学技術研究開発機構施設 整備費補助金 4,525												
		計		4	,525									
活動内容 (アクティビ ティ)	当該机	機構が行う研	究施設の	整備に要	する経費に対	し補助	かを実施す	る。						
		活動目標			活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
活動目標及び 活動実績					の整備件数		活動実績	件	14	14	19	_	_	
(アウトプット)	研究施設の整備を促進する			により当初見 績の計が合致 ある	L 1 +-	当初見込み	件	14	16	19	25			
			算出	根拠				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	度活動見込	
	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構の事業 を実施する上で必要な施設整備費補助金であるため、 位当たりのコストの算出は困難。				単位当たり	_	_	-	_		_			
単位当たり コスト		する上で必要	要な施設塾	整備費補助	助金であるため		コスト	/	_	_	_		_	
• • •	を実施	する上で必要	要な施設st :りのコスト 	整備費補原 ・の算出は 	助金であるため		コスト	/ 単位	- 令和元年度	- 令和2年度	- 令和3年度	中間目標4 年度	目標最終年	
成果目標及び	を実施を実施を実施を実施を実施した。	でする上で必要である。 位当た でではまた。 ではまれる。 でではまれる。 ではまれる。	要な施設 ³ :りのコスト 目標 法に基	整備費補原 ・の算出は 	助金であるた。 :困難。 		コスト	単位 %	- 令和元年度 100	- 令和2年度 100	- 令和3年度 100		- 目標最終年 - 年度	
	を実施を実施が立ている。	でする上で必要である。 位当た を受ける。 「量的な成果	要な施設 ³ :りのコスト 目標 法に務実 全ての項	整備費補ほの第出は標準評価	助金であるた。 :困難。 	め、単 	計算式					4 年度		

統計	として月 ・デー (出典)	タ名	独立行政 制委員会		基づく主務大臣による	る国立は	研究開発法人量	是子科 学	学技術研究	究開発機構の業務実績の評価結果(文部科学大臣、原子力規				
政策評価	政策	政策	9 未来社	会に向けた価	値創出の取組と経済	· 社会	的課題への対応	<u> </u>						
•	評価	施策	9-1 未来。 9-2 瑨培	9-1 未来社会を見据えた先端基盤技術の強作 9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応			政策評価書 URL	https:/ 07.pdf	//www.me	ext.go.jp/content/20220829-mxt_kanseisk01-000024706-				
新経済・財i			0 2 探光				該当箇所	9-1:達	成目標2	2、9−2∶達成目標4				
係財	計和		分野:	文教	√•科学技術									
政再生計	20 至工程/6・財政部	· 取組 財事項	(新経済	·財政再生計画 URL	回改革工程表 2021) :	https:/	//www5.cao.go,	jp/keiza	i-shimon	n/kaigi/special/reform/031223_divided/agenda.html				
画と	表生			該当箇	新	4-2 イ	ノベーションに。	よる歳出	a.出効率化等					
						事業i	所管部局によ	る点検	•改善					
					項 目 				評価	評価に関する説明				
	事業の	の目的	は国民や	社会のニーズを	を的確に反映している	0	量子科学技術(光・量子技術)の研究開発は幅広い産業分野への応用が見込まれる分野であり、量子科学技術の水準の向上を図るために必要な経費であるため、国民や社会のニーズを反映したものである。							
国費投入の必要性	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									第6期科学技術・イノベーション基本計画において、量子科学技術(光・量子技術)は超スマート社会(Society 5.0)における新たな価値創出のコアとなる強みを有する基盤技術と位置づけられており、我が国として着実に推進すべきものであるため、地方自治体、民間等に委ねることはできない。事業目的を達成するためには、国から一定の財政支援を受けた国立研究開発法人が当該事業を実施する必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事 業か。								0	第6期科学技術・イノベーション基本計画を踏まえた政策の写施に必要であり、政策の優先度が高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。								0	可能な限り一般競争入札を実施しており、特定の技術を有する業者以外の者に施工させることが困難である等、真にやむ				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 者応札又は一者応募となったものはないか。									を得ないものに限り随意契約を締結することとしている。一者応札・一者応募についても改善のため、仕様書の内容に疑義が生じないよう入札説明会において新規参入希望者も含め仕様の詳細について適切な説明を行い、仕様書の内容に関する質疑があった場合には一定期日内に回答を作成してHP公開を通じて全ての業者に回答するといった様々な取組を行っ				
事業の		競争性のない随意契約となったものはないか。								でいる。これらの取り組みは「独立行政法人改革等に関する基本的な方針」(平成25年12月24日閣議決定)及び「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」(平成27年5月25日総務大臣決定)等に基づいて実施されており、引き続きこのような取組が継続されるよう文部科学省としても確認していく。				
効率	受益者	当との 負	負担関係は	は妥当であるか	\ ₀				0	量子科学技術研究開発機構では、研究プラットフォーム等の 利用に関し、その利用にかかる経費や他機関との公平性等と				
性	単位旨	当たり〓	スト等の	水準は妥当かる	0				-	_				
	資金0	の流れ	の中間段	階での支出は1	合理的なものとなって	いるか	0		0	事業目的に即し、必要かつ合理的な支出である。				
	費目·	使途か	事業目的	このに即し真に必	要なものに限定されて	ているた) , °		0	競争性の確保に努めるとともに、費目・使途は合理的かつ必要なもののみに限定されている。				
	不用≅	軽が大	きい場合、	その理由は妥	当か。(理由を右に訂	己載)			-	-				
	繰越客	頃が大	きい場合、	その理由は妥	当か。(理由を右に訂	己載)			-	想定外の埋設物の発見、新型コロナウィルス感染対策の徹底 や設備の不具合等に伴う作業工程の見直し等のため。				
	その他	也コスト	削減や効	率化に向けた	工夫は行われている	か。			0	可能な限り一般競争入札を実施しており、合理的に支出が行われている。また、一般管理費や業務経費を削減するため				
	成果乳	実績は	成果目標(こ見合ったもの)となっているか。					前年度の実績及び達成度は主務大臣による業務実績の評価 結果が確定していないため、8月下旬頃確定後、記載予定				
の有				2の手段・方法 施できているか	等が考えられる場合、 \。	それと	:比較してより対	】果的 【	0	当該分野の研究開発に必要な高度な専門性を備えた国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構において実施することで実効性の高い手段となっている。				
効 性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。							, ,	概ね見込み通りの件数の施設整備を実施しており、着実に実績を挙げている。 一般の機関では導入が難しい先端的な施設及び設備につい					
	整備さ	きれたが	施設や成界 	具物は十分に活	舌用されているか。					て共用を促進していることや、重粒子線によるがんの治療実 績等が着実に蓄積されていることなど、施設や取組の成果物 は十分に社会に発信され、活用されている。				
関連事		-		場合、他部局・f 容を各事業のな	也府省等と適切な役割 ちに記載) ・	割分担る	を行っているか	。(役	-					
事業			事業番号	클 		Ī	事業名			[
-17														

備考

支出先上位10者リストに記載している一般競争契約による支出の落札率は、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表。

	関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成23年度	265									
平成24年度	279									
平成25年度	243									
平成26年度	241									
平成27年度	232									
平成28年度	229									
平成29年度	230									
平成30年度	230									
令和元年度	文部科学省 - 0222									
令和2年度	文部科学省 0229									
令和3年度		+ 134								

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省 6505百万円

事業概要

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構における施設整備の財源に充 てるために必要な金額を交付。

〔補助〕

【A】国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 6505百万円 (施設整備費補助金)

資金の流れ (資金の受け取

り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)

[一般競争入札等]

【B】量子科学技術研究施設整備費

民間企業等 (全21機関) 2656百万円

事業概要

量子科学技術研究開発機構の設置する研究施設の整備充 実により、量子科学技術の水準の向上を図る

【C】核融合研究開発施設整備費

民間企業等 (全47機関) 3859百万円

事業概要

JT-60の回収等核融合研究開発施設の整備充実によ り、核融合研究開発の促進を図る

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)

▲ A.国立研!	究開発法人量子科学技術研究開	発機構	B.株式会社竹中工務店					
費目	費 目 使 途		費目	使 途	金 額 (百万円)			
施設整備費	設整備費 研究施設等の整備			登務費 量子生命科学研究拠点施設整備事業				
計		6,505	計	1,455				
	C.三菱重工業株式会社			D.				
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)			
製作費	TBM安全実証試験装置群の製作	961						
計		961	計		0			

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人量 子科学技術研究開発 機構	8040005001619	量子科学技術(光・量子技術)及び放射線に係る医学に関する科学技術の水準向上のための研究開発等	6,505	補助金等交付	1	-	-

В								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社竹中工務店	3120001077469	量子生命科学研究拠点施 設整備事業 【契約時の契約方式:一般	1,455	その他	_	-	_
2	株式会社大林組	7010401088742	令和2年度 高崎量子応用 研究所コバルト60照射棟 ほか3棟耐震改修工事	286	その他	-	-	-
3	住友重機械工業株式 会社	9010701005032	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 の整備	234	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
4	上国興業株式会社	1040001035156	放射線医学総合研究所 水 生動物舎・温室解体及び周 辺環境整備工事	178	その他	_	_	-
5	三建設備工業株式会 社	6010001044155	放射線医学総合研究所 被 ばく医療共同研究施設空調 設備改修工事	127	その他	-	_	-
6	砂押工業株式会社	2050001006840	屋外消火栓設備更新工事	105	一般競争契約 (最低価格)	3	-	_
/	株式会社日本管財環 境サービス	4140001072021	被ばく医療共同研究施設廃 棄物処理設備等の改修工 事	76	その他	-	-	_
8	株式会社アールアン ドケー	5080101008038	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用マイクロ波源の整備	40	一般競争契約 (最低価格)	2	_	-
9	株式会社アズバイオ	8120001016752	in vitro解析用/in vivo移入 実験用フローサイトメーター 装置の購入	39	一般競争契約 (最低価格)	1	_	-
10	東京ニュークリア・ サービス株式会社	7010501015563	被ばく医療共同研究施設改修作業監理業務	36	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
11	東芝インフラシステム ズ株式会社	2011101014084	量子生命科学拠点形成施 設用受変電設備整備工事 【契約方式:一般	34.8	その他	-	_	_
12	山手エンジニヤリン グ株式会社	4011101021467	量子生命科学研究拠点施 設整備業務に関する労働 者派遣契約	10.4	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
13	キーサイト・テクノロ ジー株式会社	3010403011350	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用信号源の調達	8.4	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
14	エス・ブイ・クルム株 式会社	4020001083154	マルチイオン源整備のため のガスパルス発生系用要素 機器の調達	2.4	一般競争契約 (最低価格)	1	_	-
15	エス・ブイ・クルム株 式会社	4020001083154	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用真空監視設備の調達	1.6	一般競争契約 (最低価格)	3	_	-
16	エス・ブイ・クルム株 式会社	4020001083154	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用粗引排気設備の調達	1.3	一般競争契約 (最低価格)	3	-	-
17	エス・ブイ・クルム株式会社	4020001083154	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用マイクロ波・磁場監視設	1.3	随意契約 (少額)	-	-	_
	スペ [°] ルマン ハイ・ホ [*] ルテーシ [*] エレクトロニクスコーホ [°] レーショ ン	7700150017221	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用高電圧設備の調達	6.5	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
19	株式会社大阪真空機 器製作所	2120001092881	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用ターボ分子ポンプの調達	4.5	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
20	フジ・インバック株式 会社	8020001003257	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用真空弁設備の調達	3.1	一般競争契約 (最低価格)	3	_	_
21	三樹工業株式会社	5040001007226	マルチイオン源整備のためのガスパルス発生系の製作	2.5	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
22	株式会社ハイ・テクノ ロジー	9010001116892	重粒子線がん治療施設強化に向けたマルチイオン源用マイクロ波伝送設備の調	1.4	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
23	個人A	-	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用分電設備工事	0.9	随意契約 (少額)	_	-	_

24	株式会社八洋	7012401008440	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用マイクロ波導波管設備の	0.8	随意契約 (少額)	_	_	-
25	株式会社ケー・ディー・エス	1010901003693	重粒子線がん治療施設強 化に向けたマルチイオン源 用高電圧絶縁電力系の製	0.8	随意契約 (少額)	-		_
26	株式会社近鉄ロジス ティクス・システムズ	3010701025696	支給部品の輸送	0.2	随意契約 (少額)	-	_	_

С								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業株式会社	8010401050387	TBM安全実証試験装置群 の製作 【契約時の契約方式:一般	961	その他	_	-	-
2	株式会社錢高組	5120001049004	ブランケット工学試験棟新 築工事 【契約時の契約方式:一般	884	その他	_	-	-
3	木村化工機株式会社	7140001048448	JT-60SAポート及びバウン ダリーボックスの製作 【契約時の契約方式:一般	374	その他	_	_	-
4	株式会社片桐エンジ ニアリング	2020001016982	NBI装置ドリフト管改造部品 の製作 【契約時の契約方式:随意	204	その他	_	_	_
5	株式会社片桐エンジ ニアリング	2020001016982	JT-60SAビーム保護板の製作 【契約時の契約方式:随意	40	その他	_	_	_
6	株式会社NAT	6050001004683	トムソン散乱計測用架台の 整備 【契約時の契約方式:一般	147	その他	-	_	_
7	株式会社NAT	6050001004683	NBI装置正イオン源の整備 【契約時の契約方式:一般 競争契約(最低価格)】	32	その他	-	_	_
8	株式会社NAT	6050001004683	大型ポートプラグ据付治具 の整備	15	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
9	株式会社NAT	6050001004683	那珂研 先進加熱開発棟試 験用設備エリアの設計	13	一般競争契約 (最低価格)	1	_	_
10	株式会社NAT	6050001004683	計測装置用真空制御設備 の整備	12	一般競争契約 (最低価格)	1	_	-
11	株式会社NAT	6050001004683	トムソン散乱計測用光伝送 系統の整備 【契約時の契約方式:一般	11	その他	_	_	_
12	株式会社NAT	6050001004683	レーザー伝送系の整備	8	一般競争契約 (最低価格)	2	_	-
13	三菱重工機械システ ム株式会社	2140001013316	ブランケット工学試験棟用 冷水供給装置の製作 【契約時の契約方式:一般	117	その他	_	_	-
14	コミヤマエレクトロン 株式会社	5090001009713	プラズマ計測用真空フランジ及びポートプラグの整備 【契約時の契約方式:一般	53	その他	_	_	-
15	コミヤマエレクトロン 株式会社	5090001009713	JT-60SA真空フランジの製作 【契約時の契約方式:随意	33	その他	-	_	_
16	コミヤマエレクトロン 株式会社	5090001009713	JT-60SA容器内コイルフランジの製作 【契約時の契約方式:随意	10	その他	-	_	_
17	キヤノン電子管デバイス株式会社	1060001013523	JT-60SAジャイロトロンの製作 【契約時の契約方式:随意	87	その他	_	_	_
	株式会社マシンテク ノ	8050001034902	放射・分光計測用ポートプラグ及びダイバータ計測用固定機器の整備	50	その他	-	_	_
	株式会社マシンテク ノ	8050001034902	可視TV用ポートプラグの整備 【契約時の契約方式:随意	26	その他	_	_	_
20	株式会社マシンテクノ	8050001034902	中性子モニター用周辺設備の整備	6	随意契約(その他)	-	_	_
21	株式会社マシンテク ノ	8050001034902	気流抑制機器の整備	1	随意契約 (少額)	-	_	_
22	株式会社マシンテクノ	8050001034902	中性子モニタ検出器容器用収納設備の製作	1	随意契約 (少額)	_	_	-
23	赤星工業株式会社	5040001053518	JT-60SA第一壁冷却板の 製作 【契約時の契約方式:一般	81	その他	_	-	_

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	1		_		_	_	-